



## Cisco Webex Share 展開

- [Cisco Webex Share ベスト プラクティス \(1 ページ\)](#)
- [導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)
- [環境の準備 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション \(5 ページ\)](#)
- [Webex を Cisco Webex Share にペアリング \(11 ページ\)](#)
- [\(15 ページ\)](#)
- [デバイスの切断 \(17 ページ\)](#)

## Cisco Webex Share ベスト プラクティス

これらの制限を覚えておき、Cisco Webex Shareを設定、使用してください。

- デバイスには、障害物のない換気の十分なスペースが必要です。Webex 共有 32 ° ~ 140°F (0 ~ 40 °C)で作動するため、触ると熱くなります。
- 損傷する可能性がありますので、デバイスを水や液体にさらさないでくださいWebex 共有。
- Webex 共有 は、超音波近接通信によるペアリングを可能にする音響ホーンが搭載されています。音響を絶対にふさがないでください。より良いパフォーマンスのためには、床およびじゅうたんや布などその他の吸収面から遠くへ向けてください。
- Webex 共有 機能は、ルームに超音波ペアリングデバイスだけある場合に最適です。一部のラップトップでは、デフォルトでマイク入力 of 自動ノイズキャンセリングがオンになっています。これは、超音波ペアリングを防ぎます。
- Webex 共有が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。デバイスの上で液体や粉末を使用しないでください。部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。
- HDMI ケーブルは、デバイスの重さを支えるよう設計されています。不要な引っ張り、曲げ、または圧力をケーブルに与えないようにしてください。付属のコードキープ機能を使用してコネクタ ケーブルをサポートし、デバイスの負担を軽減します。コネクタ ケーブルに対する損傷やユニットの損傷を受ける可能性があるため、Webex 共有 を自由にしな

- Webex 共有 をインストールする場合は、片方の手で持ち、もう一方の手でケーブル用のコネクタをつかみます。ケーブルコネクタを HDMI 画面の表示ポートに押し込みます。ケーブル本体をつかまないでください。
- ケーブルを取り外す場合は、Webex 共有 を片方の手で持ち、もう一方の手でコネクタケーブルケースをつかみます。ケーブルコネクタを HDMI 画面表示ポートからそっと引き出します。ケーブル本体または Webex 共有 を引っ張らないでください。
- 一部 Cisco Webex Shareの機能には、消費者向け電子機器制御 (CEC) が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

### 関連トピック

[Cisco Technical Support \(シスコ テクニカル サポート\)](#)

## 導入ワークフロー

デバイスの導入とインストールに次のワークフローを使用します。

### 始める前に

Webex 共有 は、職場ですばやく簡単に導入できるように設計されていますが、マニュアルに精通する必要があります。Webex 共有を導入する前に、次のセクションを参照してください。

- Webex 共有 詳説と要件
- Cisco Webex Share ベスト プラクティス
- Webex 共有用の対応ブラウザ
- Webex 共有用にサポートされている言語

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Cisco Webex Share用に環境の準備をします。	<p>Cisco Webex Control Hubに場所を設定し、アクティベーションコードを生成します。</p> <p>(注) デバイスをアクティブにした後は、工場出荷時へのリセットを行わずにこれらのネットワーク設定にアクセスしたり変更したりすることはできません。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	Webex 共有を接続して起動します。	Webex 共有を表示画面に接続します。 必要に応じて証明書を生成します。
ステップ 3	Webex 共有をペアリングします。	デバイスをミーティングツールに接続します。
ステップ 4	機能を使って Webex 共有をカスタマイズします。	必要に応じて設定を構成します。

#### 関連トピック

- [Cisco Webex Share 詳説と要件](#)
- [Cisco Webex Share ベスト プラクティス \(1 ページ\)](#)
- [サポートされる言語](#)
- [Cisco Webex Share用の対応ブラウザ](#)
- [環境の準備 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション \(5 ページ\)](#)
- [Webex を Cisco Webex Share にペアリング \(11 ページ\)](#)  
(15 ページ)

## 環境の準備

Cisco Webex Shareを導入する前に、以下のセクションの手順を完了します。プロキシ設定と証明書生成の手順はオプションです。

#### 関連トピック

- [ワークスペースを作って以下用のサービスを追加します。 Cisco Webex Share \(3 ページ\)](#)
- [のプロキシを設定 Cisco Webex Share \(4 ページ\)](#)
- [証明書を生成する](#)
- [導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)

## ワークスペースを作って以下用のサービスを追加します。Cisco Webex Share

Cisco Webex Shareを使用する前に、デバイスを物理的な場所に関連付けます。

#### 手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマー ビューから、ワークスペースに移動し、ワークスペースを追加をクリックします。

- ステップ 2** ワークスペースの名前（物理的な部屋の名前など）を入力し、会議室のタイプを選択し、キャパシティを追加します。次に、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 3 Cisco Webex Room デバイス**を選択し、[次へ]をクリックします。
- 一つの場所には一つのタイプのデバイスしか使用できません。たとえば、ロビーまたは単一の Cisco Webex Room Device に10個までのデスクフォンを追加できますが、両方を組み合わせることはできません。
- ステップ 4 無料通話(デフォルト)**を選択します。通話サービスがWebex 共有に適用しなくても、デフォルトを選択して次の手順に進みます。
- ステップ 5** (省略可能) カレンダーサービスをオンに切り替えて、ユーザがそのデバイスでワンボタン機能 (OBTP) を使用できるようにし、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 6** カレンダーサービスをオンに切り替えた場合は、ルームデバイスのカレンダーメールボックスの電子メールアドレスを入力または貼り付けます。これは、ミーティングのスケジュールに使用される電子メールアドレスです。
- For devices that will be scheduled in Google Calendar, enter the Google resource email address from G Suites (Calendar > Resources) .
  - Microsoft Exchange または Office 365 でスケジュールされたデバイスの場合は、ルームメールボックスの電子メールアドレスを入力します。
- ステップ 7** 次へをクリックしてアクティベーションコードを生成します。
- 証明書を使用する場合は、導入前にWebex 共有に証明書を導入します。

## の proxies を設定 Cisco Webex Share

組織がファイアウォールを使用している場合は、ユーザーが組織外の人と接続できるように proxy サーバをセットアップすることをお勧めします。proxy はその接続のフィルタリングを担当します。

### 手順

- ステップ 1** ボックスに表示された [はじめに (*Let's get started*)] という文書を印刷して、Webex 共有を接続します。
- 有線接続 (イーサネット) : お使いのテレビが Webex 共有 IP アドレスを表示し、IP アドレスをウェブブラウザに入力することが求められます。
  - ワイヤレス接続 (Wi-Fi) : テレビに Webex 共有 Wi-Fi SSID が表示され、そのネットワークに接続するように求められます。
- ステップ 2** デバイスの Web ページにアクセスします。

- イーサネット：（ラップトップまたはモバイルデバイスから）ウェブブラウザで、デバイスページにアクセスするためのWebex 共有IPアドレスを入力します。
- Wi-Fi：提供されたパスワードを使用して（ラップトップまたはモバイルデバイスから）デバイスページにアクセスするためのWebex 共有Wi-Fi ネットワーク。

**ステップ3** [プロキシの設定]をクリックし、[編集]をクリックして、必要に応じて必要なフィールドに入力します。

- プロキシ：標準のURI を使用してください。

例：example.mycompany.com:80

- （オプション）ユーザ名：認証に必要な場合は値を入力します。
- （オプション）パスワード：認証に必要な場合は値を入力します。
- （オプション）パスワードの確認：パスワードフィールドに入力したものと同一パスワードを入力します。

**ステップ4** [保存 (Save) ]をクリックします。

## 新しいアクティベーションコードの生成

導入時に Cisco Webex Control Hub でワークスペースを作成するとき、アクティベーションコードを生成します。ただし、コードは7日後に期限切れになります。

### 手順

- ステップ1** <https://admin.webex.com>のカスタマー ビューから、ワークスペース に移動します。
- ステップ2** デバイスに関連付けられているデバイスでワークスペース を検索して選択します。
- ステップ3** アクティベーションコードの生成をクリックします。  
コンピュータ画面にコードが表示されます。
- ステップ4** デバイスにアクティベーション コードを入力します。

## Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

Cisco Webex Share は、HDMI-CEC ポートを使用してテレビまたは HDMI ディスプレイに接続します。デバイスの電源をオンにするにはいくつかの方法がありますので、オフィスに最適なものを選択してください。

- Wi-fi: ワイヤレスオフィスを必要とする管理者向けです。

- 電源アダプタを備えたイーサネット: 一貫性のある効率的な電源ソースを必要とする管理者向けです。
- イーサネット経由の電源を備えたイーサネット: 一貫した電源ソースを必要とする管理者向けですが、ケーブルは1本だけ必要です。PoEは管理が容易ですが、たくさんの電力を消費します。PoEをサポートしているRJ-45ポートにデバイスが接続されていることを確認してください。

デバイスをインストールする場合は、次のベストプラクティスに注意してください。

- デバイスには、障害物のない換気の十分なスペースが必要です。Webex 共有 32 ° ~ 140 ° f (0 ~ 40 ° c) で作動するため、触ると熱くなります。
- HDMI ケーブルは、デバイスの重さを支えるよう設計されています。不要な引っ張り、曲げ、または圧力をケーブルに与えないようにしてください。付属のコードキープ機能を使用してコネクタ ケーブルをサポートし、デバイスの負担を軽減します。コネクタ ケーブルに対する損傷やユニットの損傷を受ける可能性があるため、Webex 共有 を自由にしないでください。
- Webex 共有 は、超音波近接通信によるペアリングを可能にする音響ホーンが搭載されています。ホーンを絶対にふさがないでください。より良いパフォーマンスのためには、床およびじゅうたんや布などその他の吸収面から遠くへ向けてください。
- Webex 共有 機能は、ルームに超音波ペアリングデバイスだけある場合に最適です。一部のラップトップでは、デフォルトでマイク入力の自動ノイズキャンセリングがオンになっています。これは、超音波ペアリングを防ぎます。
- Webex 共有 をインストールする場合は、片方の手で持ち、もう一方の手でケーブル用のコネクタをつかみます。ケーブル コネクタを HDMI 画面の表示ポートに押し込みます。ケーブル本体をつかまないでください。

Webex 共有をテレビまたは表示画面に接続した後、アクティベーションコードを入力して、デバイスを登録します。



- (注) 一部 Cisco Webex Shareの機能には、消費者向け電子機器制御(CEC)が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

セキュリティ証明書を使用している場合は、事前にWebex 共有に導入してからデバイスを起動します。Webex 共有をネットワークに接続した後、画面に表示されるデバイスの IP アドレスが必要です。

#### 関連トピック

[Wi-Fi \(7 ページ\)](#)

[電源アダプターを使用するイーサネット \(9 ページ\)](#)

[Power over Ethernet を搭載したイーサネット \(10 ページ\)](#)

[導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)

## Wi-Fi

Cisco Webex Share オフィスにケーブルを使用しない場合は、Wi-Fi を使用して導入します。Webex 共有次の認証プロトコルがサポートされています。

- 拡張認証プロトコル - トランスポート層セキュリティ (EAP-TLS) - では、ユーザ名とパスワード認証は必要はありません。EAP-TLS では、証明書の認証と検証が必要です。証明書は、公開キーと秘密キーの両方に加えて、クライアントとサーバの両方で認証が必要です。
- 拡張認証プロトコル - セキュアトンネル経由の柔軟な認証 (EAP-FAST) では、ユーザー名とパスワード認証が必要です。
- Protected Extensible Authentication Protocol - Microsoft チャレンジハンドシェイク認証プロトコルバージョン 2 (PEAP-MS-CHAP-v2) - では、ユーザー名とパスワード認証が必要です。
- 保護された拡張認証プロトコル - 汎用トークンカード (PEAP-GTC) - では、ユーザー名とパスワード認証が必要です。

利用可能な認証方法を検出する[自動(Automatic)]を選択して、次の順序で選択することもできます。

- 拡張認証プロトコル (EAP) の方式 (前のリストを参照してください)
- ワイヤレス秘密キー (WPK) - 認証に共有パスフレーズが必要
- Wired Equivalent Privacy (WEP) - 認証には共有パスフレーズが必要
- オープン - 認証なし



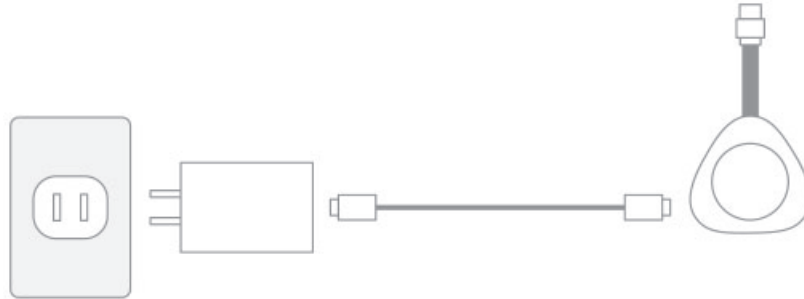
(注) 一部 Cisco Webex Share の機能には、消費者向け電子機器制御 (CEC) が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

### 始める前に

- 設定を完了するにはラップトップまたはモバイルデバイスのどちらかを使用するか選んでください。
- 適切な機器をお持ちしている事を確認してください。
- 場所への Webex Share の追加。
- 貴社がプロキシを利用している場合、プロキシを設定します。
- アクティベーションコードを取得します。

## 手順

**ステップ1** ボックス内の印刷文書 [はじめに (Let's get started) ] の中で示されているようにデバイスをプラグ差し込んでください。以下の Wi-Fi アダプタを使用します。



**ステップ2** モバイル デバイスまたはラップトップを使用し、ホストされるアクセスポイント (AP) に接続します。要求されたら、Wi-Fi クレデンシャルを入力します。

お使いの Wi-fi ネットワークが表示されない場合は、Wi-fi ネットワークの一覧を更新します。非表示のネットワークは一覧に表示されません。

- a) [ ネットワーク > wi-fi (Network Wi-fi) ] をクリックします。
- b) 組織のネットワークを選択します。
- c) 非表示ネットワークを使用する場合は、[他のネットワークに参加 (Join)] を選択します。
- d) 非表示ネットワークを使用する場合は、サービスセット識別子 (SSID) を入力します。
- e) ドロップダウンリストからお使いの認証方法を選択します。
- f) 必要に応じて、ログイン情報を入力します。
- g) [参加 (Join) ] をクリックします。

**ステップ3** アクティベーションコードを入力するをクリックして、アクティベーションコードを入力します。

セキュリティ証明書を使用している場合は、事前に Webex 共有に導入してからデバイスを起動します。

## 関連トピック

[Cisco Webex Share 詳説と要件](#)

[ワークスペースを作って 以下用のサービスを追加します。 Cisco Webex Share \(3 ページ\)](#)

[新しいアクティベーションコードの生成 \(5 ページ\)](#)

[のプロキシを設定 Cisco Webex Share \(4 ページ\)](#)

[証明書を生成する](#)

[導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)



## 電源アダプターを使用するイーサネット

デバイスに一貫した AC 電源が必要な場合は、電源アダプターを使って Cisco Webex Shareを導入します。



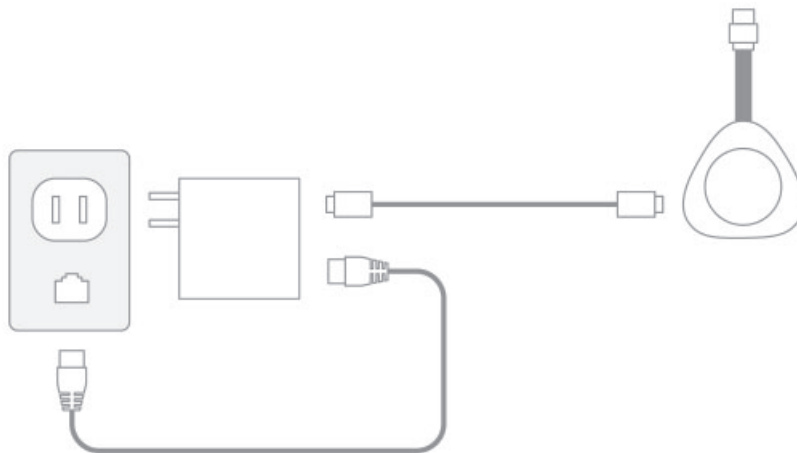
- (注) 一部 Cisco Webex Shareの機能には、消費者向け電子機器制御 (CEC) が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

### 始める前に

- 設定を完了するにはラップトップまたはモバイルデバイスのどちらを使用するか選んでください。
- 適切な機器をお持ちしている事を確認してください。
- 場所への Webex Share の追加。
- 貴社がプロキシを利用している場合、プロキシを設定します。
- アクティベーションコードを取得します。

### 手順

- ステップ 1** ボックス内の印刷文書 [はじめに (Let's get started) ] の中で示されているようにデバイスをプラグ差し込んでください。こちらに示すイーサネット アダプターを使用します：



お使いのテレビが Webex 共有 IP アドレスを表示し、IP アドレスをウェブブラウザに入力することが求められます。

- ステップ 2** お使いのウェブブラウザ (ラップトップまたはモバイルデバイス) で IP アドレスを表示し、デバイスページにアクセスします。

**ステップ 3** お使いのウェブブラウザで、ウェブページにセキュリティ例外を追加し確認します。

**ステップ 4** ウェブブラウザで [設定 (Setup)] をクリックする。

**ステップ 5** [アクティベーションコードを入力 (Enter Activation Code)] をクリックして、アクティベーションコードを入力します。

セキュリティ証明書を使用している場合は、事前に Webex 共有に導入してからデバイスを起動します。

**ステップ 6** ウェブブラウザの残りの指示に従って設定を完了します。

---

### 関連トピック

[Cisco Webex Share 詳説と要件](#)

[ワークスペースを作って以下用のサービスを追加します。 Cisco Webex Share \(3 ページ\)](#)

[新しいアクティベーションコードの生成 \(5 ページ\)](#)

[のプロキシを設定 Cisco Webex Share \(4 ページ\)](#)

[証明書を生成する](#)

[導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)

## Power over Ethernet を搭載したイーサネット

電源が必要で、デバイスにケーブルを 1 本だけ接続したい場合、Power over Ethernet を使って (PoE) Cisco Webex Shareを導入します。



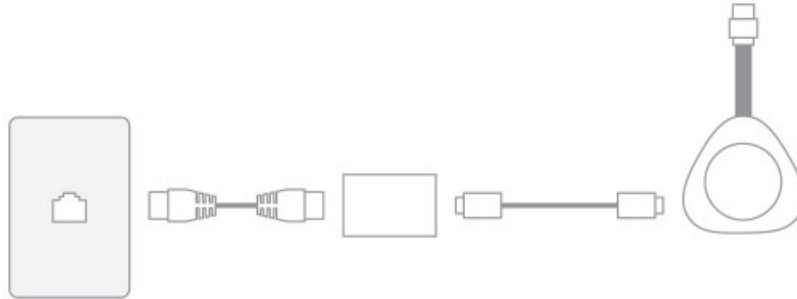
(注) 一部 Cisco Webex Shareの機能には、消費者向け電子機器制御 (CEC) が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

### 始める前に

- 設定を完了するにはラップトップまたはモバイルデバイスのどちらを使用するか選んでください。
- 適切な機器をお持ちしている事を確認してください。
- 場所への Webex Share の追加。
- 貴社がプロキシを利用している場合、プロキシを設定します。
- アクティベーションコードを取得します。

## 手順

- ステップ 1** ボックスに表示された[はじめに (Let's get started)]という文書を印刷して、Webex 共有を接続します。ここに表示されているPower over Ethernet (PoE) アダプタを使用して下さい：



お使いのテレビが Webex 共有 IP アドレスを表示し、IP アドレスをウェブブラウザに入力することが求められます。

- ステップ 2** お使いのウェブブラウザ (ラップトップまたはモバイルデバイス) で Webex 共有 IP アドレスを表示し、デバイスページにアクセスします。
- ステップ 3** お使いのウェブブラウザで、ウェブページにセキュリティ例外を追加し確認します。
- ステップ 4** ウェブブラウザで [設定 (Setup)] をクリックする。
- ステップ 5** [アクティベーションコードを入力 (Enter Activation Code)] をクリックして、アクティベーションコードを入力します。
- セキュリティ証明書を使用している場合は、事前に Webex 共有に導入してからデバイスを起動します。
- ステップ 6** ウェブブラウザの残りの指示に従って設定を完了します。

## 関連トピック

[Cisco Webex Share 詳説と要件](#)

[ワークスペースを作って 以下用のサービスを追加します。 Cisco Webex Share \(3 ページ\)](#)

[新しいアクティベーションコードの生成 \(5 ページ\)](#)

[のプロキシを設定 Cisco Webex Share \(4 ページ\)](#)

[証明書を生成する](#)

[導入ワークフロー \(2 ページ\)](#)

## Webex を Cisco Webex Share にペアリング

Cisco Webex Share を最大限に利用するには、Webex と一緒に使用します。いったん接続すると、アイデアを共有したり会議を行って同僚との共同作業が実現します。

ペアリングでは、超音波を使用してデバイスを検出し、Webex とペアリングします。

## 関連トピック

[超音波](#)

# ペアリングのヒント

ペアリングでは、ultrasonic sound wave を使用してデバイスを検出し、Webex とペアリングします。そのため、デバイスをペアリングするときは、次のように注意してください。

- デバイスのペアリングは、3~5 秒後に正常に行われます。その時間内にペアリングされていない場合は、問題があります。
- デバイスの近くでは、デバイスが干渉する可能性がありますので、会議室のドアを閉めてください。Webex 共有は会議室に1つだけであるようにしてください。
- 同じ職場に複数のデバイスがある場合は、デバイスを手動でペアリングすることを検討してください。
- コンピュータ mic を有効にし、別のアプリがコンピュータを使用していないことを確認します。

# 自動的にペアリングをする

Webex と自動的にペアリングできます。自動ペアリングは、初期設定以外に何もせずにペアリングすることを意味します。

## Windows コンピュータからの自動ペアリングを有効にする

Windows コンピュータとペアリングできない場合は、Webex または Cisco Webex Meetings の設定を確認してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** Webex からプロフィールアイコンをクリックし、**設定**を選択します。
  - ステップ 2** デバイスをクリックして**自動ペアリング**がチェックされているかどうかを確認してください。そうでない場合は、それを確認して**保存**してください。
  - ステップ 3** **自動ペアリング**がチェックされていても機能しない場合は、コンピュータが対応していない可能性があります。その場合、手動でペアリングを試してみてください。

## 関連トピック

[手動ペアリング](#)

[超音波](#)

## Mac コンピュータからの自動ペアリングを有効にする

Mac コンピューターとペアリングできない場合は、WebexまたはCisco Webex Meetingsの設定を確認してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** メニューバーをクリック **Webex**して**環境設定**。
  - ステップ 2** **自動ペアリング**がチェックされているかどうかを確認してください。チェックされていない場合は、チェックしてポップアップを閉じます。
  - ステップ 3** **自動ペアリング**がチェックされていても機能しない場合は、コンピュータが対応していない可能性があります。その場合、手動でペアリングを試してみてください。

### 関連トピック

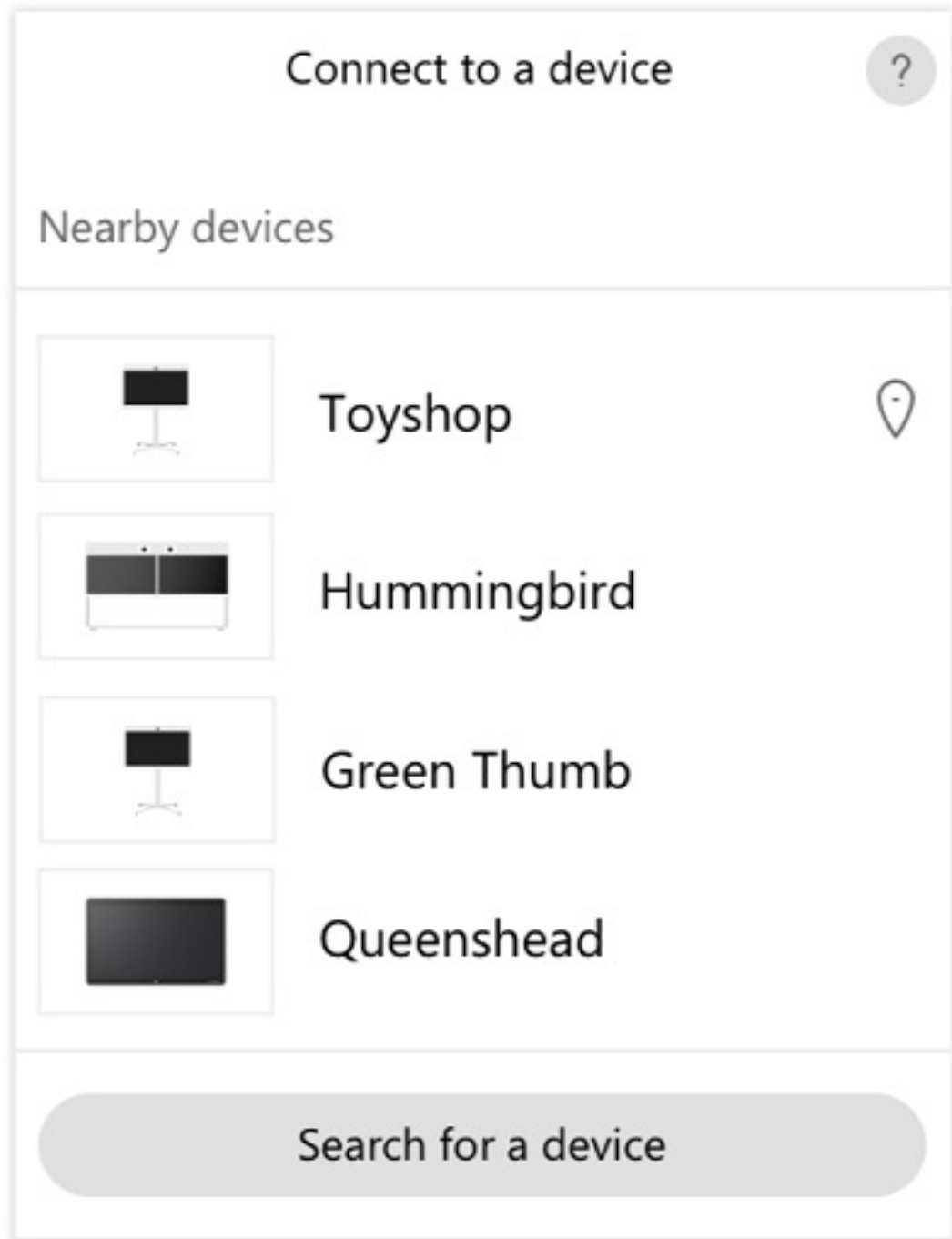
- [手動ペアリング](#)
- [超音波](#)

## 手動でペアリングする

必要に応じて、アプリの使用毎に Webex を使用して接続することができます。

### 手順

- 
- ステップ 1** **デバイスに接続する**を選択して、デバイスの一覧を表示します。リストからデバイスを選択します。  
**ヒント** **デバイスの検索**を選択する場合は、名前で検索できます。最近接続したデバイスの一覧が表示されます。



**ステップ2** PINがデバイスに表示されたら、Webexに入力します。会議室に複数のユーザがいる場合は、同じ暗証番号を使用してアプリをデバイスに接続することができます。

(注) デバイスに表示されるPINを入力します。



ヒント 暗証番号は5分間有効です。

---

#### 関連トピック

[超音波](#)

多くの設定と機能は、デフォルトで有効になっています。ただし、必要に応じてこれらの項目をカスタマイズすることができます。

## 単一のデバイスの機能を設定する

クラウドベースのすべての機能は、から設定および制御されますCisco Webex Control Hub。ニーズの変化に応じて、さまざまな機能を有効にすることができます。

#### 手順

- ステップ 1** <https://admin.webex.com/>の顧客ビューから、**デバイス**に進みます。
- ステップ 2** インベントリからデバイスを選択します。
- ステップ 3** スクロールダウンして、**詳細設定**を選択します。
- ステップ 4** 機能を選択し、設定を行います。

ステップ5 適用をクリックします。

ステップ6 [閉じる (Close)] をクリックします。

## Cisco Webex Control Hub パラメータ

あなたのニーズに合うように Cisco Webex Control Hub からあなたのデバイスをカスタマイズします。



(注) スタンバイを使用する場合は、次の制限に注意してください。

- スタンバイにはコンシューマ電子制御 (CEC) が必要なので、デバイスを HDMI-CEC をサポートする表示ポートに接続します。
- 一部の HDMI 表示画面は HDMI-CEC をサポートしますが、スタンバイはサポートしません。
- ディスプレイ画面とデバイスの上に HMI スイッチを導入しないでください。
- 表示画面でスタンバイを有効にして、Cisco Webex Control Hub の機能設定を構成する必要がある場合があります。

スタンバイの詳細については、HDMI ディスプレイ画面の資料を参照してください。

次の表では、Cisco Webex Control Hubにあるこれらの機能について説明しています。この情報は、機能の設定時に使用します。

表 1: 機能とパラメータ

パラメータ	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
DigitalSignageServer	—	—	カスタムコンテンツを表示画面に表示することができます。
言語	プルダウンメニュー。	英語 (米国)	使用する言語を選択します。
[メンテナンス (Maintenance) ] > [再起動 (Restart) ]	何もしない 再起動	何もしない	デバイスを再起動します。デバイスの設定に影響せず、ログファイルが保持されます。



パラメータ	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
スタンバイ制御	オン オフ	オン	ディスプレイが電力節約モードに入ります。 <b>オン</b> に設定すると、ディスプレイはアイドル時にスリープ状態になります。  ディスプレイ画面で HDMI-CEC がサポートされていない場合は、このパラメータを無効にします。
スタンバイ遅延	スライダ	10 分	デバイスがスタンバイモードに移行して画面表示をオフにする前の遅延を設定します。  デジタルサイネージを設定する場合、このパラメータは 120 分にリセットされます。
スタンバイ WakeupOnVoiceDetection	オン オフ	オン	ユーザが会議室で話したときに画面表示がオンになるようにします。有効にすると、画面はスタンバイモードのままになり、会議室で音が検出されるとオンになります。  この機能は、スタンバイ制御とスタンバイの遅延と連携して動作し、画面表示の耐用年数を延ばします。
タイムゾーン	プルダウンメニュー	自動	現地時間帯を設定します。
UltrasoundVolume	スライダ	100	Cisco Webex アプリを含む会議室内のデバイスを検出します。  (注) このフィールドをデフォルト設定のままにすることを推奨します。

#### 関連トピック

[Cisco Webex Shareでのデジタル信号の設定](#)

[サポートされる言語](#)

[Cisco Webex Control Hubからデバイスを再起動する](#)

## デバイスの切断

デバイスを別の HDMI 表示画面に移動する必要がある場合は、Cisco Webex Share を接続解除します。



---

**注意** Webex 共有を取り外す場合は、ケーブル本体またはデバイスを引き出したり、引っ張ったりしないでください。ケーブルに過剰な力や応力が入り、デバイスが損傷を受ける可能性があります。デバイスを HDMI 表示画面から取り外す場合は、必ずケーブル コネクタ ケースを持って下さい。

---

#### 手順

---

- ステップ 1** 片手で Webex 共有 を持ちます。
- ステップ 2** 一方、ケーブル コネクタ ケースを持ちます。ケースはケーブル コネクタの端を保護するプラスチック製です。
- ステップ 3** コネクタ ケースをそっと引っ張り、HDMI 画面の表示ポートからデバイスを取り外します。
-